

## 授 業 概 要

<b>授業のタイトル (科目名)</b> 保健医療サービス		<b>授業の種類</b> (講義)・演習・実習		<b>授業担当者</b> 濱田 新	
<b>回数</b> 15回	<b>時間数 (単位数)</b> 30時間	<b>配当学年・時期</b> 1年 後期		必修 ・ 選択	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  公的扶助の理念や制度等発展の経緯と国の生活保護制度、専門職の役割等を学び、昨今の社会全体と政策の動向における公的扶助領域のソーシャルワークによる支援のあり方を理解する。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  社会保障と呼ばれる制度には、年金・医療・社会福祉など様々なものがある。社会保障論では、社会保険を中心に社会保障制度を体系的に学び、それらが国民の生活にどのような役割を果たしているのかを考察する。</p> <p><b>【授業修了時の達成課題 (到達目標)】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療保険制度について説明ができる。</li> <li>2. 患者自己負担の仕組み、現金給付の種類と内容、検診制度について説明ができる。</li> <li>3. 医療機関の診療体制、診療報酬について説明ができる。</li> <li>4. 地域包括ケアシステム、各関係機関との連携、チーム医療について説明ができる。</li> </ol>					
<p><b>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健医療の課題をもつ人の理解①</li> <li>2. 保健医療の課題をもつ人の理解②</li> <li>3. 保健医療の課題をもつ人の理解③</li> <li>4. 医療倫理</li> <li>5. 演習①グループワーク形式 (意思決定支援)</li> <li>6. 保健医療の動向①</li> <li>7. 保健医療の動向②</li> <li>8. 保健医療の動向③</li> <li>9. 保健医療領域に必要な政策・制度およびサービスに関する知識①</li> <li>10. 保健医療領域に必要な政策・制度およびサービスに関する知識②</li> <li>11. 保健医療領域における専門職の役割と連携①</li> <li>12. 保健医療領域における専門職の役割と連携②</li> <li>13. 保健医療領域における専門職の役割と連携③</li> <li>14. 保健医療領域における支援の実際</li> <li>15. まとめ、国家試験過去問/国家試験対策/試験範囲説明</li> </ol> <p>後期末試験</p>					
<p><b>【使用テキスト・参考文献】</b>                  最新・社会福祉士養成講座                  「保健医療と福祉」 中央法規                  社会福祉小六法2021 [令和3年版]                  ミネルヴァ書房</p>			<p><b>【単位認定の方法及び基準】</b>                  授業態度、試験、出席状況から総合的に評価し、単位認定を行う。下記の記載内容も留意すること。                  ※1 試験の評価基準：6割以上の成績にて合格。                  ※2 出席の評価基準：欠席が多い場合には、後期試験の受験資格が得られない。また、単位認定も行わない。</p>		